

計算書類に対する注記（グループホームさくら）

1. 重要な会計方針

- （１）固定資産の減価償却の方法・・・定額法
- （２）引当金の計上基準・・・賞与引当金（当該会計年度の負担に属する４か月相当額を計上）

2. 重要な会計方針の変更

特に無し

3. 採用する退職給付制度

独立行政法人福祉医療機構の退職共済

4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

- （１）グループホームさくら拠点計算書類（第１号の４様式、第２号の４様式、第３号の４様式）

5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
建物	18,983,674	0	2,839,482	18,144,192
合計	18,983,674	0	2,839,482	18,144,192

6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

国庫補助金等特別積立金 643,000円を取り崩した。

7. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

特に無し

円

計

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

特に無し
計 円

※C拠点では「6. 担保に供している資産」は「該当なし」と記載。

8. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
(貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。)

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(1)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物（基本財産）	90,897,500	74,753,308	1
器具及び備品	5,967,345	3,714,492	
建物	230,000	229,999	
修繕積立資産	1,600,000	0	
合計	98,694,845	78,697,799	1

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高
(貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。)

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(1)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
無し			
合計			

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は以下のとおりである。

(1)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
無し			
合計			

１１．重要な後発事象

特に無し

１２．その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

特に無し

単位：円)

卡残高
6, 144, 192
6, 144, 192

単位：円)

6,144,192
2,252,853
1
1,600,000
9,997,046

単位：円)

残高

単位：円)

